

THE KANSAI UNIVERSITY BULLETIN

Osaka, July 15th, 1951. —No. 241

關西大學學報

第 2 4 1 號

昭和 2 6 年 7 月



千里山に於ける教職員住宅地

關西大學學報局

ヒューマニズムの本質

学長 岡野留次郎

一時ジャーナリズムを賑はしたヒューマニズム論争も最近余り論ぜられなくなつた。それは「実存主義はヒューマニズムなり」と叫んだサルトルの思想も、一応紹介され終つたためであるかも知れない。何ことに限らず新しさと著名さに対して特別な関心と執着を示すのが国読者層を相手とするジャーナリズムの行き方としては当然のことであらう。しかしそれ故にヒューマニズムの論議が内容的に意味を失つたことにならないことは云ふまでもない。尤もハイデッガーも云ふやうに(ヒューマニズムについて七頁)、イゼムに捕はれるといふことの弊害を認めない訳ではないが、さりとて一般社会の思想市場がこれを求めるといふことは、止むを得ない必要性がさうさせるからに違ひない。

ハイデッガーは右の書物の中で西欧におけるヒューマニズムの発端をローマ文化と後期ギリシア文化との接点に置き、*homo barbarus* に対立する *homo humanus* — 即ちローマ人の徳性を後期ギリシアの *Paidéia* によつて高め得たローマ人 — の本質たる *humanitas* に起源をもつことを説き、ヒューマニズムは本質においてローマに特有な現象であると云つて居るが(十、十一頁)、此語の歴史的淵源をさぐるならば正にその通りであらう。それはギリシアのバイディアと密接なつながりを持ち、人文的な教養への導き入る(*cruditio et institutio in bonis artibus*)と密に関連するものに違ひない。しかしながら極めて廣い意味では、この言葉は人間(*homo*)が人間的(*humanus*)になるやうに配慮すること、人間が自由にその人間性を發揮し、そこに自己の價値を見出すやうに努力することが意味される。その意味から云へば、人間の自由や本性をどう解釈するかによつて、ヒューマニズムも

その色合を異にするであらう。例へばマルクシズムは、人間の自然的な要求が等しく確保されるやうな社会において、初めて人間は人間らしさを認められると考へて社会の物質的條件の改革を目指す限り一つのヒューマニズムであり、基督教は神との対決において初めて人間の本質は顯はになると信じて人間の永遠の救ひを目指す限りこれまたヒューマニズムと云つて差支なく、此意味から云へばヒューマニズムは必ずしも古代ギリシア、ローマの文化と密接なつながりを持たねばならない訳ではない——とハイデッガーは更に説き進んである(右同所)。誠にその通りであらう。ヒューマニズムといふ言葉が含む色々の意義が此語の日本語への翻訳をも困難なものにしてゐるのであらう。この頃では人文主義、人道主義など云ふ訳語を用ゐる人は少くなつた。しかしヒューマニズムの語はまた人本主義と云ふ語で訳されることもある。この意味において、云ふまでもなく普通英のシラーの学説などが理解されるのであるが、彼の思想の根源に遡るならば、かのソピストの頭領プロタゴラスに迄到るであらう。即ち例のプラトンのテアイタトスの中でプロタゴラスが言明したと云はれて居る所謂人間尺度命題「人は万物の尺度である——存在するものについてはそれが存在すること、存在しないものについてはそれが存在しないこと、」に起源を求め得るでもあらうか。この際主として人間が存在・非存在の認識論的根拠として挙揚されて居ると解し得るが、同時に人間存在が存在・非存在に關する形而上学的な根拠であること、主眼も含まれてゐると解してその意味を深めることも不可能ではあるまい。古代ギリシアの哲人達が行つた宇宙の根源的要素の探求と、これを形而上的原理となされた世界説明が、遂にロイキッポスやデモクリ

トスの機械的唯物論となり、原子論的宇宙説明に歸結した時、自然的な樹木や石塊でなく、市場や人間存在に思索の眼を轉じ、人間存在の本質の探求に専心し、「グノーティ・セ・アウトン」(汝自らを知れ)と叫んだのはソクラテスであつた。人間存在の本質を單に物質的なアトムの機械的な集團と見ることは不可能である。万人が一致し得る道徳、その基礎の上に立つ歴史的社會、法と秩序と慣習の支配するポリスの國家——大よそ人間の社會と生活の基礎には、それを可能ならしめる概念的な一致がなければならぬ。これがソクラテスを生涯支配した信念であつた。プロタゴラスの感覺論は、その相對主義の点においてソクラテスと信念を異にするが、人間存在を認識と存在の基礎とした見方においては相通する。サルトルの実存主義も、ハイデッガーの存在論も、それぞれ立場を異にする点はあるが、人間存在を常に世界解釈の基礎とし、人間存在の本質の確立を人間の行爲と歴史の目的とする点においては、相一致する。マルクシズムも單なる人道主義ではない。それは機械的唯物論、形而上學的唯物論を克服し、ユートピアの人道主義の甘さや、宗教的陶醉を手段とした救世的社會改造主義を嘲笑する。科學的合理主義を建前として歴史の必然的發展による人間の解放を約束する。しかし飽く迄物質的弁証法的發展を基礎とする世界説明は、人間の自由と解放を叫ぶ点において、ヒューマニズムの名にふさはしいとしても、人間存在をその本質において物質的原子の弁証法的發展の結果と見なす点において、人間存在を存在の形而上學的根拠と考へる実存主義の見地とは正に相對立するであらう。従つて人間の自由といひ解放と名づけるものの本質も當然異つた意義と内容を持つこととならねばならない。

かやうにして同じヒューマニズムの旗印の下に立つ思想陣營といつても、その内容と具體的な動きにおいて、極端に相對立する場合も生ずることは、一つの時代的皮肉とでも云ふべきであらうか。

命名の自由と制限

……名前の用字について……

教授 木村健助

パリに住む或るフランス人が、生まれた子に、リュシフェール・ブランキ・ヴァンゲローリクス・サンジュスト・リクス・Lucifer-Blangui-Vangélorix という名前をつけて、出生届を出した。ところが戸籍係は名前のつけ方が法令違反だといって、その届書を受けつけてくれないので、争いになったことがある。なぜ法令違反かというと——フランスには、古い法律で共和十一年芽月十一日法という今から百五十年ほど前につくられた法律があつて、今もつて引きつぎ行われているが、それは名前のつけ方や改名に関して定めたもので、その第一條に、「この法律の公布以後は、各種の暦の中に用いられている名と、昔の歴史の中の有名な人物の名とだけが、子の出生を証明するための身分登記簿(戸籍簿)に、その名として載せられることができる。その他の名を身分証書に記すことは、身分登記吏に対して禁止せられる」と書かれている。この法律によつて、フランスでは、子どもの名前をつけるには、暦にのつてある名前か昔の歴史の有名な人の名前の中から選ばなければならぬ。暦にのつてある名前というのは、一月一日は聖徒の誰の祭の日、一月二日は聖女の誰の祭の日というように、例えば聖マルコが四月二十五日で聖パウロが六月二十九日で、聖マリヤは八月十五日になつてゐるが、暦日によつて聖徒の祭の日を定めたこれらの聖徒の名前のことである。また昔の歴史の中の有名な人物の名前というのは、この法律がフランス革命の時にできたものであるから、むろん、それよりも前の古い歴史の中の人名を指すことになる。ただし、昔の歴史という時代の区ぎり方がはつきりしていないのと、また有名な人物という有名な程度がはつきりしていないので、この点もしばしば問題になる。そこ

で、一八六五年に政府は内閣通牒によつて、出生届の際に生兒の名前として受けつけてもいい名前をリストをつくり、これを市町村役場に備へつけて参考にするにすることにした。しかし、このリストは、はつきりと法令で定められたものでなくて、半公式のものに過ぎないから、戸籍係はリストによる指示を必ずしも守つてはいないといふことである。冒頭に問題にした子どもの名前も、はじめの部分 Lucie は暦の中にある反抗の天使の名前、終りの部分 Vangélorix は昔の歴史に出てくる征服されたゴール人の將軍の名前であるが、中の部分の Blangui は暦にも昔の歴史にも出てこない名前でありリストにはないから、厳格なパリの戸籍係は届を受理しなかつたのである。ブランニール教授は、その「フランス民法要論」の中で、生れた子が、この反抗の天使と敗戦の將軍の名前を背負わせてもらうことは、その子にとつて余りに重荷になることだろうから、戸籍係が親切にもそれを免除してやつたのだらう、と書いている。

名前をつけるのに、暦の中の名前と昔の歴史の有名な人の名前とだけに限るとすれば、ずい分その範囲はせまいといわなければならない。英国や米国でよく見られるような現代の有名な人の名前をつけるということがフランスではできないのは勿論のこと、ずつと昔の歴史にさかのぼらなければならないから、ヴォルテールとかフランクリンぐらゐの古さではないけれども、実際にこういふ名前の出生届を受理した戸籍吏があつてそれは戸籍規定の解釈を誤つたものとされている。だから、名前を選ぶには聖書や古代史をさがせ、ということになる。また、人名以外のものを名前につかうことはできないから、普通名詞や形容詞を名前に用いる

第二四一号 目次

表紙写真……………八島治一撮
ヒューマニズムの本質……………

命名の自由と制限……………木村健助(一)

学内報……………(三)

文部省科学研究費交付……………中島文雄氏
來講……………幼稚園竣工披露……………教職員住宅
近々竣工……………研究室並びに正門工事
進捗……………教授学会出版……………人事異動

学 生……………(四)

扇のかなめ……………末永雅雄(六)

沿線風土記(一)……………H・N生(七)

菓子放談……………澤瀉久孝(八)

校 友……………(一〇)

本学所蔵重要図書解題(三)……………

……………K・A生(二)

関西大学図書館新着洋書目録(Ⅶ)(二)……………

校友名簿作成のための

校友へのお願い……………(表紙三)

編輯後記

ことは違法である。リベラテリレヴォリュシオン
Liberté-Révolution(自由革命)という名前を女の子に
つけた。者があつた。自由も革命も女性名詞に違ひな
い。例の人名表の中にはそんな名前が載つてゐる筈
はない。むしろ役場ではその届出を受けつけてくれな
い。名前をつけた父親は、どうしてもこの名前をつけ
たいと頭ばつて、遂に裁判所に事件をもちこんだが、
裁判所もそのような名前を受理しないのは当然
だと判決した。これが有名な一九一三年八月十四日の
セーヌ地方裁判所の判決である。名前のつけ方をこの
ように制限しているのは、フランスだけではない。西
洋では大抵似たようなものである。英国や米国は法
律で制限はしていないから、もつと自由ではあるが、
慣例として同じような結果になつてゐる。ドイツやス
イスなどは、フランスとは同様の制度である。フラ
ンスやドイツに同じ名前が非常に多いのは、この理由
によるのである。

小説家の芹澤光治良さんの長女マリさんは、フラン
スで生れたお嬢さんである。生れた当時、わたくしは
芹澤さん夫婦と同じ家に下宿していたが、マリという
名前がつけられたというのを聞いたが、フランス人た
ちは、日本にもマリという名前があるのかとさきりにた
ずねていた。芹澤さんは、マリというのは日本の言葉
では秘のことであるし、また千里万里の万里という意
味もあるといつて説明したが、フランス人には納得が
ゆかなかつたらしい。その後、わたくしにも、マリと
いう名前が日本にもあるかと、かれらはさきりに質問
していた。おそろく、かれらは、日本の市町村役場に
も、名前を選ぶための人名表が備えつけてあるのだら
うと信じていた。だがしかし、その人名表の中にはマ
リという名前が載つてゐるか一寸疑わしい、と思つて
いたのである。わたくしは、その当時は名前に
関するフランスの法令をよく知らなかつたので、それ
とは大に異なる日本の命名の慣習をよく説明すること
ができたのである。

わが国で名前のつけ方について最近に問題になつた
事件は、茅ヶ崎市の松原宏遠という人の出した出生届
の不受理になつた事件である。松原さんは、一昨年の
十二月に女の子を生れたので「瑛美」という名前をつ
けて、茅ヶ崎の市役所に出生届を出したところ、戸
籍係は当用漢字表にない文字が名前につかつたのであ
らうという理由で、この届書を受けつけなかつたのであ
る。昭和二十三年一月一日から施行されている新戸籍

法の第五十條第一項によると、「子の名には、常用平
易な文字を用いなければならない」とされ、第二項に
は、「常用平易な文字の範囲は、命令によつてこれを定める
」ということになつてゐる。命令といふのは、同時に
施行規則の第六十條は、「戸籍法第五十條第二項の
常用平易な文字は左に掲げるものとする。一、昭和二
十一年十一月内閣告示第三十二号当用漢字表に掲げる
漢字。二、片かな又は平かな(変体がなを除く)。」
と規定してゐる。これらの法令によつて、名前に用い
る漢字は当用漢字以外には許されないのである。松原さ
んは、以前に長女を生れたとき「致美」といふ名
をつけたとかで、今年のは二女であつて是非とも「瑛
美」と名づけたのであるが、戸籍係が届を受理しな
い。そこで、戸籍事務の管掌者は市町村長であるから
松原さんは茅ヶ崎市長を相手どり届出を受けつけな
いのは不当といつて、横浜の家庭裁判所に不服の申し
立てをした。家庭裁判所は不当でないを審判したので、松
原さんは更に東京高等裁判所に抗告をした。松原さん
は、憲法に保障されてゐる表現の自由を擁護し、戸籍
法及び戸籍法施行規則の規定が憲法違反であることを
主張して、高等裁判所は名前の規定は違憲でないとい
明してゐる。

名前の文字を当用漢字千八百五十文字と片かな平かな
に限るのは、大きな制限には違ひない。戸籍法改正前
には、この種の制限はなかつた。当用漢字表には、従
来よく名前に用いられた多くの文字が除かれてゐるこ
とも事実である。しかし、かなと漢字とで約二千文字
の文字があれば、名前をつくるには、二文字三文字組
み合せても、四字五字六字何字でも名前はできる。長
の規定や制限はないからである。明治時代には十二支
の文字がよく名前に用いられたが、これを全部つかつ
て「子丑寅卯辰巳未申酉戌亥之助」という十四字の
名をつけた者があつた。あまり長くて呼ぶのに不便だ
と思はれるだろうが、「エトノスケ」と呼ぶのださう
である。これらの文字の大部分が当用漢字の中にない
今日では、これと同じような名前をつけることはでき
なくなつたが、今日でも、長さは十四字でも十五字で
も、子どもの迷惑さえ無視すれば、つけられないこと
はない。西洋のように、昔から名前として採用されて
来たもののしか、つかうことができず、長い名を欲する

ときは二つも三つもの名をつなぎ合わせる外に方法のな
いのに比べると、日本人の名ははるかに自由だといわ
なければならぬ。長さだけの問題でなく、当用漢字
及びかな文字のわく内ならば、名詞・形容詞・動詞・
感嘆詞を名前につかうことはもとより、新作・創作が
自由自在に行われよう。しかしながら、自分の名前だ
からどんな名をつけても自分の勝手だといふべきもの
ではない。自分の名前は、自分がつかうより他人の
方が多くつかつてゐる。他人の方に一層必要なので
ある。ここに名前の社会性といふものがある。この
ことになる。当用漢字及びかなに制限したのは、そうい
う理由からなのである。名前は、自分の名といつても
生れたときに自分でつけることはできないから親がつ
ける。親が名前にこり過ぎたり悪趣味から、難解な文
字や珍奇な文字を用いて命名してはならないと思ふ。
戸籍法改正このかた家庭裁判所に用いられる改定許可の
申請の数はおびただしいものであるが、たとえば昨年
度の大阪家庭裁判所の取り扱つたものを見ても、二八
九件のほとんど大部分が難読とか珍奇のために改名し
たいといふものだとわかることである。わたくしは、名
前の文字を当用漢字と片かな平かなに制限することは
妥当なことだと思ふ。当用漢字を現在通り千八百五十
字に限定しておくかどうかという問題は、国語国字に
関する根本的な問題であつて、名前の問題とは直接関
係のない別の一般的な問題である。名前の文字に關す
る限りは、定められた当用漢字のわくを守るといふ建
正をなすべきでないと思ふ。

人名に關する制度は、氏についても名についても、
これまで次第に民主化せられてきた。戸籍法による文
字の制限も、この基本方針の一つの表われである。同
じ戸籍法における他の改正を見ても、そのことによく
わかると思ふ。例えば新戸籍法の第一三八條によつて
廃止された古い法律の一つに、明治六年の太政官布告
第二三五号というのがある。「御歴代御諱並に御名ノ
文字自今人民一般相名乗候儀不及擲事。但熟字ノ儘相
用候儀ハ不相成候事」と定められてあつたものである。
すでに明治六年の民主化によつて御諱や御名の文
字を一字づつ用いることは許されたが、熟字のまま
用いることは禁止してあつたのを、今回その禁を解い
たのである。これもまた人名民主化の一例である。

學内報

文部省科學研究費交付

此度文部省より昭和二十六年度科學研究費交付金(各個研究)が左記七名の本學教授に交付された。尙その研究題目は頭書の通りである。

ロンドン方言の成立過程

八島 治一(英語學)

ヒューマニズムとこれと対立するものとの問題(現代英米文學を通じて見たる)

堀 正人(英文學)

金融制度の機能論的研究

森川 太郎(一般理論)

アダム・スミス以降の諸學用理論の學史的研究 三谷 友吉(一般理論)

イギリス産業革命諸問題の研究

矢口孝次郎(經濟史)

日英米地方財政の比較研究

藤谷 謙二(財政學)

超絶熱材料METAL-CERAMICSに関する研究

太田 鶴一(金屬工業)

中島文雄氏來講

東京大學教授中島文雄氏は六月二十日本學を來訪、午前十時より二時間に亘り大學院に於て、「イギリスの英語學」なる題下に講演をせられた。

幼稚園竣工被露

此度落成した関西大學幼稚園の竣工被

露式は七月七日午後三時より同園遊藝室に於て舉行せられ、理事長、園長の挨拶があつて後、大阪府知事、同園々児母の會代表の祝辭があつた。

教職員住宅近々竣工

曩に建築中であつた千里山教職員住宅地惠風園の工事は着々として拂り、能勢の連山を望む風光絶佳の丘に瀟洒な棟を並べ、七月末竣工の見込となつた。

大學院研究室並びに正門工事進捗

現在着工中の大學院研究室並びに正門の工事は日々進捗し共に來月中、おそくとも九月初には竣工の見込、新学期には新しい正門が玄關を飾り、研究室は丘上に新しい美觀を呈することとなる。



完成員近き大學院研究室

人事異動

專任講師 三上 諦聴

昭和二十六年五月十六日付を以て文學部助教教授に任ずる(五頁へつゞく)

經濟學會の改組

一新會員の募集について

本學における研究雜誌は昭和九年以來第十四号まで發行された「関西大學研究論集」(年刊)と、戦争による一時中断を経て二十四年より復刊され第四号まで發行をみた「人文科學論集」(季刊)とでありました。しかしながら法、文、經、商の四學部を擁する大學において、ただ一つの綜合的研究雜誌を持つと云ふ事態は、種々の難点があり、こと經濟學部及び商學部に関しては兩者に共通の研究雜誌として新しく「関西大學經濟論集」第一卷第一号が昨年十一月發行され、その編集發行は從來からあつた經濟學會が担当したのであります。しかし在來の經濟學會は本學において經濟學または商學を専攻する教授、助教授、專任講師、助手、旧制大學院學生によつて構成され、會員相互の研究發表と親睦の機關であり、はたして機關雜誌の編集、更に發行と云ふ重責に耐え得るか否か疑問でもあります。こゝに新事態に即應するよう今回左の要領で經濟學會を根本的に改組再出發することになりました。

一、會員 會員は普通會員と賛助會員に區別され

(一) 普通會員は (イ) 本學において經濟學または商學を専攻する教授、助教授、專任講師、助手 (ロ) 右以外の本學の教職員と、本學の校友學生にして經濟學また

は商學の課程をおさめたものとし、うち特に入會を申込んだものとし (二) 賛助會員は 上記(イ)の普通會員によつて組織される評議員會において適當と認められたものとす

二、會の事業

本會の事業は機關誌「関西大學經濟論集」の發行季刊を中心とし、研究會及び講演會の随時開催その他適當と認められた事業を行うこととし、會員は機關誌の無償配布をうける

三、會費

會費は普通會員年額三百円賛助會員一千円以上とする。

さて以上の要項から大體想像されまうように改組された經濟學會は本學關係者にして經濟學または商學に多大の関心をもちたれる各位によつて構成された一大組織でありまして、互に研究批判することによつて、お互に研究の發展に寄與するは勿論のこと、また職つては機關誌を幹として學校當局と校友更には學生諸君との関連をより一層密にし、本學の隆盛にも多大の貢獻をしようとするものであります。

(附記) 後日適當な機關を通じ、また個別の關係各位に對し趣意書、新會則、入會申込書、振替用紙等をお届ける手筈になつております。故、その際には何卒、上記の如き經濟學會改組の意のあるところを御實際の上、申込下さるようお願い申し上げます。尚校友會員名簿不備のため、連絡不能の希望の方は事前に左記の所に申出下されば、必要書類を返送いたします。

吹田市千里山関西大學經濟學部内
関西大學經濟學會



(朝日会館における関西大学交響樂團)

◎文化祭、學

衛祭

一部学生会
主催、本年度
文化祭並に学
衛祭が、去る
六月二十三、
四、五日の三
日間、朝日会
館、中之島公
会堂の両会場
で挙行せられ
盛會を極めた
会場朝日会館

優雅古風の茶音頭を茶道部が披露し、邦楽部が地唄の茶の湯音頭で、これに和し、我國、古來の美しさを顯現した、ついで邦楽部の箏曲演奏で午前を終り、午後は、交響樂團員による絃樂四重奏、ハイドンの『雲雀』モツアルトの『セレナーデ』が演奏された。

当文化祭の正卷、演劇部による『アルルの女』は、六十名近い交響樂團の伴奏で、グリーククラブの合唱助演で開幕、演出西山辰夫の巧みな運びと、新人山田五郎、遠藤妙子の両主役の熱演、高木、中込、八木、新田、浅井、桑原等の藝達者を連中により、ドーデーの味が充分に生かされたこれには交響樂團を指揮した衣川俊雄の効果も充分認めねばならないだろう。当日は東京から庶々、御來場下さった訳者櫻田佐氏から過分の賞讃の辭を頂いた。

諸曲部による連吟、仕舞、巴、映画研究部の上映々画、密告々によつて第一日を終了した。

第二日 六月二十四日 朝日会館

第一日と同様、同課題で雄辯會による辯論、輕音樂はタンゴバンドにより哀婉な數曲、スウィングバンドによる輕快なリズム數曲の演奏あり、邦楽部は前日に引替へ、邦樂の中でも華麗な長唄、元祿花見踊、越後獅子、山村流舞踊、家の御賛助を得て絢爛たる舞踊を舞台一杯に繰展げた。

交響樂團は広瀬清彦指揮で、ハイドンの『軍隊交響曲』を演奏(写真は同團の演奏)演劇部は、昨日同様のスタッフ、アル、の女、再演、諸曲部は、舞獅子、箏、を井上、羽衣、を板東、山姥、を宮道、が舞い閑雅素朴なお囃子に我國固有の藝の美しさを潤嘆させて呉た、映画研究部により女相統一人を上映、九時過ぎ二日間に亘る多彩な文化祭の全概しを無事終了した。

第三日 六月二十五日 会場中央公会堂

前日二日間は好天に恵まれたが、当日は雨天であつた、然し熱心な学生諸君によつて会場の全部を埋め、現在の日本と我等の課題と云う課題で、各々研究部門より、それ々のテーマを探り上げ熱辯を振つた。

全独の運命

社会科学部 東川 宗彦

戦争と文学

民主主義文学部 木村 宗朝

ビューヒルとその時代

独文学部 小川 悟

現情勢下における再軍備

討論會 千里山法律学会員討論

現情勢下における我等の使命

朝鮮史学研究部 高山 始宗

基本的人權と公共の福祉

社会法學研究部 井上 浩臣

政治學

政治學會 久保 正雄

続いて、本學衛祭に御賛助を賜り左の諸先生の講演があり有意義に終了した。

學衛講演 本學教授 中谷 敬壽氏

経傳 矢口孝次郎氏

対日講和と我國經濟の再建

大阪銀行社長 鈴木 剛氏

全体主義と自由世界

評論家 淡 徳三郎氏

◎映畫研究部

新東寶系光星映画撮影所の文化映畫、學生生活の実態の撮影が、學校當局の多大な援助を得て、七月三日より四日間、學内各所に撮影機、ライト、錄音機が据えられ、本學の全貌が収められた、近く全國映画館に上映封切されるが、研究部員は、この撮影隊に加わり、日頃の研究を、実際に撮影、録音、編集等に参劃し実習し得ることが出来た。

◎英語研究部

毎年夏期休暇中に行われる日米学生会議は、昨年より國際會議に拡大されたが、本年は、本學を中心に行われることに決定、高松宮の御臨席を仰ぎ自由世界各國學生、約百四十余名が本學に集合、各部門に別れて討議する。豫定せられてゐる會議内容は、

議題の一つの世界を目指して

部門 政治、經濟、社会、宗教、教育

文学、藝術、科学、醫學

討議は凡て英語で行われ、英、米、佛

独、伊、中、等世界各國學生七十名、日本側京阪神名の地区學生七十名の参加があり、本学内では、八月九日より、八月十四日まで会議が行われる。

●關西大學政治學會

政治學研究部は、先輩を含めた研究團體に發展し、名稱も、關西大學政治學會とし、六月十六日、これが第一回懇談會を開催、岩崎前學長を始め諸先生、諸先輩を囲んで懇談、有意義な一日を持つことが出来た。

●ユネスコ研究

國際連合學生連盟第一回總會が、東京議事堂に開催され、本学より四名参加、六月二十六日より二十八日まで滞在、七月六日千里山遊園地で巡回セミナーを実施、中共問題と我國の立場と題し、先輩寺西氏、東浦氏、政治關係を佐藤、經濟關係を角尾、歴史關係を玄野の三君が受持ち熱辯を振った。

●討論研究部

夏季九州遊説を計畫、十二名の部員が別府、小倉、福岡、熊本、鹿児島、宮崎の各地の新制大學、各種團體と討論會を行う、七月十六日大阪を出発、一週間の豫定である。残余の部員は夏季合宿を計畫してゐる。

●寫眞部、美術部

両部共同主催で秋の美術シーズンに魁

けて、来る九月一日より一週間、天王寺美術館で美術部は白鷺會展、寫眞部は光稜會展を同一会場に持ち開催する。両部とも、それ／＼同展覽會に備へ夏季休暇を利用し、美術部は淡路、寫眞部は鳥取と合宿を行い画のうを満たして帰つてくることになつてゐる。更に美術部はモデル・デッサン會をやり技を磨き、豊富な



政治學會會者

画題を展示すると張切つてゐる。

●山岳部

第二回登山リクリエーション、本年は高山植物咲き乱れる白馬岳を中心に、行い杓子岳、ヤリ岳に登る四泊六日の計畫であり、山岳部員以外の一般學生の参加者を募集、昨年に劣らず多人数の参加を得七月廿一日十七時十分大阪駅より出発、廿六日帰阪する。

●柔道部

六月十七日、大阪城内警察學校道場に於いて、第一回全關西學生柔道大会が、参加校廿校を得て、盛大に開かれ、豫想通り本学が第一回優勝校となり、優勝旗知事杯、市長杯等多数の賞品を授與された。

●優勝戦 本学

- 堀田 合せ拔 小野山×
- △林 田 引分 北村 △
- △野見山 引分 三家 △
- 一ノ瀬 十字固 京井 ×
- 富士原 内股 長 ×

●バスケット部

六月九、十日の府下選手権大会に優勝した当部は、二十二日より廿五日迄、西宮体育館で舉行された西日本選手権大会に出場、優勝を期待されたが伏敵同志社大に破れ、優勝を逸した。

●水泳部

七月七、八日大阪プールに於いて関西學生選手権大会が開催され本学山本新吾は百米自由型に、一分八秒八の大会新記録を出した他、二百米自由型にも、二分十八秒八の大会新記録を出し優勝した。

●軟式庭球部

西日本學生選手権大会が、大分縣宮口で七月四、五、六日の三日間舉行せられたが、惜しくも優勝を逸した準決勝

以下次の通り

準決勝 本学 3 — 0 同大
決勝 " 0 — 3 関学

●拳闘部

第五回全日本學生拳闘選手権大会が、七月七日東京後樂園コロシアムで舉行されたが、判定に不審があり、審判團の不公平に本学選手を氣分的にくさらせ、豫想外の成績で破れた。

- ジュニア・フライ
- 早大 ○光岡 判定 河戸 本学
- フライ
- 早大 出原 判定 橋本○ 本学
- " ○鬼頭 " 安田 "
- バンタム
- 早大 △広瀬 保留 成瀬△ 本学
- " ○和歌井 判定 福本 "
- フェザー
- 早大 ○出原 判定 藤波 本学
- " ○小笠原 " 栗田 "
- ライト
- 早大 ○石丸 判定 小坂 本学
- ウエルター
- 早大 判定 西尾○ 本学

(三頁よりつづく)

教授學會出張

◇吉永登教授 六月九日京都大學に於て開催の大學一般教育研究會に出席
◇中井毅二教授 六月十六日より同十八日まで東京に於ける日本新聞學會總會理事會に出席

扇のかなめ

講師 末 永 雅 雄

「大学附近に考古学の資料があるか」と石濱教授に尋ねられたのでちよつと考えてみた。その質問は多分大学の千里山が対象になつてゐるものと思つたからである。ところで千里山は一見すると平野に臨んだ低い丘陵つきであり、この間教授室で、どなたかの話の中に千里山のことを「ね山」と書いた記録がある様なことを聞いたが、地形はまさに古墳築造にはよい條件をもっている。しかしそれがいい。少くとも河内の古市や堺市の百舌鳥の古墳群の様な外観をもつ古墳は見当らない。

友人の誰かと千里山で石器を拾つた話も聞いたがこれも確かでないから、石濱教授の問に対して、具体的に「考古学資料がある」とはいまのところでは答えられない。

ところで千里山の丘陵のつきをたどると、資料はかなりある。殊に北攝地方における考古学調査は、まだ充分に行き届いたとは云えないから、むしろ将来に期待すべきものが非常に多いからそのあらましを見てゆくと、近いところ豊中で銅鐙が出ていま大阪美術館にある。古墳では櫻塚があり、いまでは町名になつてゐるが、その他にも古墳の数はすいぶんあつた。

ある年の冬、大阪府でこのあたりの古墳の発掘調査を行つたとき、私は狐塚と云う小さな古墳を担当した。入夫三人を使つて約六尺ばかり古墳の中心部を掘り下げた。しかし何の微候もない。殊にその塚の傍に

は小さな溜池がある。古墳の様子を見るとたしかに人工の盛土ではあるが、池がある爲に池を掘るときに土を盛つた塚か、古墳か、確められない不安はあつた。夕方になつて、関係者の一人である某氏が来てこれはない。いくら掘つてもだめだと私に聞えよがしに捨池の土をあげたもので古墳でせりふを残して去つた。

入夫もそれを聞いてます／＼動かなくなつた。事実私もいよく自信がなくなつて來たが、明日もう一日頑張ることにして、それでなおわからなければともかくだが、まだこの土は池山になつてゐないから発掘をつゞけると入夫に云い渡したとたんに、一人の入夫のショベルの中に混つた小さな朱の塊を見つけた。

黙つてその場所へ行つて見るとわずかに朱の屑が細く淡く認められるものがあつた。これで時間は少し早かつたがその日の作業を終ることとして、掘つた場所に再び土を厚くかけさせて埋つたが、その夜氣懸りであつたので翌日早く出かけてみると昨日埋めた通り異常はなかつた。

その日はすぐ見當がついた、漆片に彩色をしたものが粘土にくつついて出たものを追究して、とう／＼漆塗りの編物の盾が三つと短甲などの整然と並んだのを見つけた。我考古学界で古墳時代の盾の実物（盾の一種類であろうが）を知つたのはこの時が最初であつた。

豊中の古墳には陶棺を埋めたのが多く、その地方色

をなしている。元來陶棺の相対的年代が下るので大形前方後円墳のある豊中の古墳郡の年代はかなり長期に亘るものとも考えられるが、これらの陶棺は近所の櫻井谷附近にたくさんに残る窯跡との関係も考えられなければならない。この窯跡はかなり廣瀬園に分布しているが、須恵器や瓦を焼いたものであつて、陶棺も焼いたか、陶棺を焼くには別の形式の窯があつたかはつきりしないが、土器技術とその原料である粘土や、燃料の採取などの風土的自然環境との関係から、上代における工業、技術、経済史的觀察に対しても資料を提供する。それであるからこのあたりの土の中には研究を待つ遺跡があらちちに埋藏されている筈である。

このあたりから少し西北方に視野を拡大すると塚口、伊丹、川西附近には彌生式から古墳時代につき加茂の彌生式遺跡は、昔から有名であつて、その地にあたる宮川石器館は宮川雄逸氏が永年に至る採集品である。

加茂の遺跡はずつと古いものは少い様だがその文化的性格を確めてみたいものである。この遺跡附近の標高は約四十五メートルであるから、同じ等高線上には他にも遺跡が把握されうる可能性がある。彌生式遺跡と古墳とはいふも相連するものであるが、附近の丘陵には點々として古墳が築かれてゐる。加茂の遺跡は中山寺の境内にも横穴式石棺の古墳があり、いまから十数年前以前小湊村の米谷に居られる片岡鉄雄氏のよこされた手紙に書いてある図と説明で、私は驚いて行つてみて又驚いた事があつた。それは我考古学界にも二三の例よりない石櫃に納めた金銅の骨藏器であつて、佛教渡來期における新知識の火葬墳墓であつた。これは片岡氏に乞うて京都大学の考古学教室の標本に寄贈して

頂いたが、いまでも多数の陳列品の中で異彩を放っている。

千里山から淀川流域に沿って丘陵を傳つてゆくとき、紫跡古墳等が到るところに散布する。ちようどわが大学から北に向つてこうした考古学的資料を求めると大学は、あたかも扇における要の位置を占めているかの如くであつて、その扇の展開に従つてゆくと、東には淀川流域の平野を豊沃な水田に仕上げた人々を埋めた藍野、阿武野の古墳群、西方猪名川をはじめ北福山地帯

案外史址が多い。

本年十月二日、寺の境内に
古金銀入三百斤 長二尺四寸

沿線風土記 その一

天文学者ヘツケルは「科学者は木を見ることが森を見ない」と言つたが、現代人はこの反対に森を見るが木を見ず、然かもその森の見方も漠然としてゐる。これは汽車とか電車とかの文明が生れ、その上生活が複雑多岐になつて通勤、通学の道以外に殆ど生活から忘れられてしまつてゐる爲であらう。私達は今せめて私達の身近にある森の木にだけでも視線を向けるのも無意味な事ではないと思ふ。

南長柄

長柄といふ地名の起りは分らない。長柄と言へば人々は長柄の橋を想起し、長柄の橋といへばその人柱を想起する。長柄淀川堤の南は以前には西成郡北長柄村南長柄村と言はれた。この南長柄村には

から大阪湾に流れる諸川による伊丹平野は、今日なお稻野の地名を残すところがある様に、また昆陽の池の文学的な印象を興える以上に、われ／＼はもつと古い時代からの文化の傳統を考へる。それは彌生式文化期から水田経営の完成期である古墳時代の發展を経て、日本上代文化の確立、更に進んで飛鳥奈良時代への遺跡と遺物が、ちようど扇面に描かれた分布図の様に私の眼には映じるが、もう一つ視野を拡大すると、山城の向日町、丹後の桑田附近から若狭に出て日本海に通

鬼貫の墓隅の存する処。現代盛名を擅にしてゐる芭蕉に比して、母に孝する爲旅を避けた詩人は、一部の人に敬愛せられるのみでその墓の所在さへ伊丹の墨染

じる、丹波道主命の進んだ地域から丹後にはいり、西に廻つて但馬、美作、播磨より吉備地方に及ぶ、近畿古文化圏の重要な一翼をなしている。これに淡路島を加えると、研究の爲の基盤は必しも狭しと云えない。これは徒らに地図を眺めての私感想であるが、この地域を対象に土器のかげら、石の屑を拾ひ集めて、はたしてそれが学問の上にどれだけの効果をもたらし、関西大学の学風にどんな影響を興えるかはわからない。何年かの後の現われを待つ外はない。



鬼貫塚(左は菊翁塚、右は鬼貫九十圓忌追善石)

寺か当寺かと定かではない。然も芭蕉の史址は次々に保存顕彰せられて行くのに比して大阪に縁の深い鬼貫の、墓とも擬せられるこの鬼貫塚は全く顧られず余り

にも無造作に殆ど近隣の人にも知られず洵に忙しく棄ておかれてある。もと鶴淵寺は淀川の北岸南方村にあつたのを延享年間大阪の豪商上田広久なる人が許多の財を寄進して現在の寺域に遷した。これは鬼貫の死後十年を出ないことであるが、勿論南方の移城はその儘に残され、たゞ當時名の高かつた鬼貫のみは墓代りとして、鬼貫塚を建てられたのではなからうか。当寺の過去帳に仙林則翁居士、俗名上島興物兵衛の文字が見られる。塚は明かに句碑の趣を持たず、表に鬼貫翁の三字を大きく刻み、側面に元文三年戊午八月二日寂辰七十八歳とあり、句は碑背にある。

おもしろき急には見へぬすゝまかな
鬼貫塚に並んで鬼貫に私淑した田原菊翁の塚碑が建ち、「なかなぬ子を啼いてそだてる蛙かな」の句を誌す。商都大阪の文人勲勞の念の何と乏しきことよ。本堂の東南隅に鐘樓あり、緑青厚き國寶の梵鐘

(表紙三頁(續))

菓子放談

教授 澤 瀉 久 孝

われ好かず古風な干菓子諸舖詰二番煎じ茶
やくざ職訳

この戯れ歌を認めた坪内逍遙博士自筆の色紙を見せられて「翻譯」を「注釋」とおきかへたらそのまま私のものにする事も出来ると思つた事があつた。逍遙博士は最後のものを言ひたくてはじめの三つをあげたのだらうが、この三つのものも私に、そのまゝうけ入れられる。お茶といふもの、玉露以外は、少しぬるくなつただけでもう手に觸れようとしめない。私だから二番煎じ茶などは論外である。舖詰といふもの「實用、便利」を生活文化の目標とする世界では喜ばれるものながら、その悪口は既に述べた事があり、第一その外形の曲のなさ、鋸切りで切開くといふ事も興ざめなれば、切り開かれた空鋸がごみだめに捨てられてゐるぶざまさ、もうそれだけ言へば澤山だと思ふ。干菓子はお茶の味を引立てるものだと思ふが、その茶を一日一口も飲まなくても口さびしくならない私なんだから、従つて干菓子にも用はない。たゞ大阪の白雪齋、松江の山川、金澤の長生殿長岡の越の雪と云つたものは純の純なるものとして珍重さるべきものだが、これと嘉賓と共に抹茶でも喫しなければ、ひとりてたべる氣にはめつたにならない。

さて、菓子は生菓子にかぎる。そしてその菓子とは空腹時の蟲おさへにしたり、代用食にしたりするものではないのである。名菓とは心を樂しましめ、

心を遊ばしめるものである。洋菓子が日本菓子に劣るのはそれが代用食の域を脱しないからである。森本治吉君が私と共著の或書の序文の中に、私が先天的に洋菓子が嫌ひだと書いたので時々迷惑をする事がある。先達もある會議の席で洋菓子が出た時、私にだけ和菓子を持つて來たので、どうしたのかと聞くといふ。隣にゐた某君が「和菓子にもよるよ」と注意してくれ、やつと洋菓子にかへてもらつたが、私は菓子の好みについても、追放に値するやうな國粹主義者ではないつもりである。一昨年の夏、二三度私のところへ書物を見に來た若い女の人があつた。知人の紹介ではじめて書物など見に來る人は、よく名刺がはりによいかげんの菓子折などを持つて來るものであるが、その人は何も持つて來なかつた。そして最後に來た時に洋菓子を持つて來た。そして「先生のところへは和菓子を持つて上る勇氣はありませんでしたが、幸によい洋菓子が手に入りましたのでこれならたべていただけると思つて持つて上りました」といふので、「あんたはあたまでよいナ」とほめた事であつた。正直にいふと私は時々よい洋菓子がたべたいナと思ふ事がある。私の食事は朝夕の二度だから午後の二時頃から夕食迄の間は胃袋が空になつてゐるので、さういふ時によい代用食があれば誘惑を感じるのである。さういふ時にはいいものは甘いものではない。和風ならばかき餅か鹽せんべ

い、洋風ならばソーダクラッカーにチーズと云つたところが理想的であるが、デコレーションケーキなどは困るけれども、和臭のない洋生菓子ならば一つ二つ手を出す氣になる。クリームに近い、やはらかいチーズを用ゐた生菓子などは最も實味するところであるが、遺憾ながらまだ日本では見かけた事がない。ともかく洋菓子には代用食としてよいものがあるからそれを毛嫌ひするのではさらさらない。

だが、私のほんとに求める菓子は代用食ではない。食事のあとでたべられないといふやうなものはすぐれた菓子ではない。いかほど山海の珍味で御馳走になつてもその後にくぐれた蒸菓子が添へられてゐなければ、佛造つて何とやらの感とでも言はうか戦争中、田舎の婚禮によばれて當時には珍らしい御馳走になり、酒の飲みぬ私もつい量を過した迄はよかつたが、あとで甘いものが出ず、しなえうらぶれて、その夜泊る事になつてゐた姪の縁付先へ引あげたところ、「伯父さんのお好きなものこしらへて待つてましたわ」とお善哉を出された時の甕つたやうなうれしさは、終生忘れ得ない程の喜びであつたが、甘いものにせいたくの言はれる今となつては、ぜんざいでは少しこまる。況んや生餅に粒餡をまぶしたあんころ餅などは見ただけで胸がつかへる。「十分いただきました」といささかふずみむくつしたくなつたやうな時に、も一度しやんと坐り直したくなるやうな感を起させるものが、食後の名菓だと思ふ。

夏は夏らしく、冬は冬らしく、名を聞いてゆかし、見た目に美しく、指につまんでやはらかく、ほのぼのとuringのはひがあり、唇ざはり、舌ざはりなめらかに、齒にくつつかず、とろとろと溶けて、あ

はあはと消え行くものが私には最も好ましい菓子だと思ふ。ぜんざいは困るといひ、つぶあんはごめんだと言ふのはところとけてあはあはと消えてゆかないからである。名と色と形とに季節感が示されて、見た目に美しいといふ點において、日本の食品の足許に及ぶものはないといふ事はいかなる外國崇拜者といへども認めざるを得ないところだと思ふ。そこでくやしきぎれに脂肪だ、蛋白だ、ビタミンだ、カロリーだと言ひ出すのであるが、おあいにくさま、菓子は右に述べたやうに空腹をみたす爲の代用食ではないのである。

溜精一博士は世界の文字で藝術品となり得るものはかなと漢字だけだと論ぜられてゐるが、和菓子もまた然りと私は思つてゐる。

私が外遊中金澤の森八の小倉野と千歳とをロンドンの客舎に送つてくれた人があつた。その時私は大陸の方にゐたために、私がその小包を開いたのは、發送後五十日あまりも過ぎた時であつた。しかもそれは「鏝詰」ではないので、紙箱のまゝで、酷熱の印度洋を通じて來たのであつた。にも拘らずその中の小倉野に少々かびが見えただけで、變味腐敗はしてゐなかつた。生菓子にしてはこれだけの耐力を持つてゐること、さすがは森八の銘菓なりとその送り主へ讃辭を呈したのであつたが、とかく名物と言はれるものには、耐久力を考へる爲に勢ひ甘つたものが多い。森八の場合は抹茶の菓子といふ點も考慮に入れねばならず、それはそれとして味ははるべきものではあるが、甘つたものは私の好みには合はない。「此間君のところの菓子の甘さが少しあやしい氣がしたが、まさか薬品を使つたのであるまいか」と私の菓子をつくる二樂庵主人にい

ふと、「めつさうな。薬品なんか使ひ道も知れしまへんわ。うちはあんをたくのにガスも使つてしまへん。くぬぎの薪しか使はんのですから」といふ。「だつて甘さがいつものやうでなかつた」といふと、「わかりました。此の間家内が砂糖の分量をまちがへたんです。私もあんをたいてゐてをかしいナと思つて、たづねたら砂糖を入れすぎた事がわかつたんです。その時の事でしやる」といふ答であつた。

菓子は調進して三時間ばかりたつた時がたべ時だと二樂庵主人はいふ。わらび餅が翌日になるとその手ざはりに弾力性を失ひ、子もあまた生んだ女の乳房のやうになり、唇に縋はりつくやうな、びりびりとはずむ力がなくなつて、わらび餅の魅力は消える、とかつても書いた事があるが、それ程でなくともすべて生菓子の宵越しを意としないのは菓子ごのみの人のわざとは申し難い。世は定めなきこそいみじけれ。鏝詰にならぬところに和菓子の貴さがある。

きのふ新聞を見てると「毒ガ高田を空襲」といふ見出しがある。何の毒が空襲したのか、毒ガスのスの落ちたのかと思ふと毒蛾の蛾の字が常用漢字にないので、かういふ醜態を演じたのだとわかつた。またけふの新聞を見ると「ヨイ山にも交通制限」といふ題が出てゐる。「良い子に交通訓練」ならわかるが、「良い山に交通制限」とは何の事かと思つたら、祇園のよひ山の事であつた。春宵一刻といふ事も書けず、よひ月とよひ月との區別も出来ぬとはさて不自由な世の中になつたものだ、ブランドン教授をして「美しいものがなくなつてゆくのは見てゐてイヤなものです」と歎せしめた美しい漢字を抹殺しかなづかひを混亂せしめてどこに文化國の面目があるのか、かういふ低俗無難な世の中に、くぬぎの薪

でたいた餡でつくつた蒸菓子などをすゝめるのはむだなことで、和菓子の色付にはならぬ毒々しい口紅をつけた女と鏝詰でも開いてダンスでもおどつて、空鏝は道ばたへ捨てておいたらよいのかと思ふけれども――。
(昭和二十六年七月十五日稿)

萬葉學會

本學教授澤瀉久孝博士を中心に全國の萬葉學徒を發起人とする萬葉學會がこの七月十日に成立した。その事務所を文學部國文研究室にもつ本學としては同學會今後の發展を心から期待して止まない。

會 則

- 一、本會は萬葉學會と稱する。
- 一、萬葉研究者、愛好者は誰でも申込によつて會員となれる。(會費年額三〇〇圓)
- 一、會員の研究發表機關誌として季刊「萬葉」を發行する。
- 一、本會は隨時萬葉に関する見學旅行、文獻の展觀、研究發表會、講習會、講演會、圖書の出版などを行ふ。
- 一、本會の代表者には京都大學名譽教授澤瀉久孝博士を推す。

投稿規定

- 一、内容は萬葉集に関する各分野の研究論文
- 一、分量は四百字詰原稿用紙十五枚以内。
- 一、投稿資格は會員に限る。
- 一、締切期日は毎号に之を指定する。
- 一、原稿送先は大阪府吹田市千里山関西大學文學部國文學研究室內萬葉學會宛。
- 一、投稿原稿は一切返却しない。尙その採否は編輯部に一任すること。

校 友

十四會經濟座談會及懇親會

大正十四年度專門部法經商卒業生は、卒業後二十七年を記念して經濟座談會と懇親會を六月二日共同ビル特別室で開催した。集る者十九名法曹界計理士界実業界の第一線に活躍する者が、同窓の俊秀森川経博の「自立過程下の日本經濟」の座談を中心に、直面せる日本經濟の陰路に話題の花を咲かした。当夜は商科出身の財界の第一線に活躍する者が多かったため、現下の世界的景氣中だるみ現象の原因と回復への轉換期について眞剣な討論も出て、ビールと料理の配膳も驚く忘れられる程の眞面目さが漂った。財界診斷論も終つて宴も酣に入り、誠に所輕い所も出て、盛會裡に學歌を齊唱して二十七年記念會を閉幕した。

この會は今後十四會と命名することになり世話係長に関西ロール事務取締役、井上賢一君を、連絡場所は大江ビル三階岸田會計事務所とした。当日出席者

井上賢一(前川島之助(法岸田駒太郎(今井忠(經)上戸次雄(經)佐伯三郎(經)森川太郎(商)井上賢一(商)鶴田周平(商)森野三治(商)黒田黄(商)小林清(商)佐伯弘(商)茂野富士雄(商)竹下誠良(商)西村治三郎(商)平尾榮(商)松尾孝通(商)富田(商)論(商)

執印正俊氏渡米壯行會

昭和六年學部政治学科を卒業して大日

本セルロイド株式会社に就職、その後各課を経て榮進現在同會社取締役兼總務部長の榮職にある執印正俊氏が今回アメリカのセルロイド企業視察に空路渡米されるのを送る爲、左記同窓の有志が五月五日夕、大丸食堂に集つて壯行會を開いた。同君の渡米の抱負と歸朝後の我國セルロイド工業に及ぼす影響等を話題に一夕を敏談し、終つて同氏の前途と旅行中の健康を祈つて祝杯し婦朝士童の座談會の豊富を期待して散會した、同日の参會者は

山口縣支部新設

今般昭和三年法律學科卒業の山口縣宇部市在住大田正之氏より山口縣下在住の母校出身者各地区別校友會を結成その統轄機關として関西大學校友會山口縣支部(仮称)を設立する旨申請があつた。

職域名簿抄 (八)

大淀警察署
長 井田 太郎 (昭一四大法
石川 明 (昭一七関中
此花警察署
親 山本 克己 (昭五大法
福井 啓一 (昭一六專商
住吉警察署
堀 河内 透 (大一五專法

近畿財務局

警 部 岸本 貞夫 (大一五專法	警 部 堀内 明弘 (昭一七專商	警 部 木津川水上警察署	警 部 鶴本 定己 (昭一〇大法	警 部 天辰 隆盛 (昭五〇	警 部 大阪市警視廳警察學校	警 部 藤野 春三 (昭七大經	警 部 山下 勇次 (昭一六大法	警 部 大阪市消防局	警 部 西淀川署長 山田 國一 (大一二專法	警 部 長 星田 九一 (大一三〇〇	警 部 長 吉造 (昭一〇〇〇	警 部 長 森本 守夫 (昭一六〇〇	警 部 長 廣通商產藥局	警 部 吉田 広三 (昭九專二法	警 部 田中 久夫 (昭一一專二商	警 部 木村 素行 (昭一二〇〇	警 部 小阪 嘉徳 (昭一四專二法	警 部 上山 満雄 (昭一二〇〇	警 部 中村 繁雄 (昭一九專經	警 部 岡崎 光夫 (昭一一專二商	警 部 瀧田 信 (昭一八專二法	警 部 瀧川 利治 (昭二二〇〇	警 部 平野 耕造 (昭一〇專一法	警 部 小牧 義郎 (昭一一專二商	警 部 飯田 尚生 (昭一七〇〇	警 部 門戸金次郎 (昭二二專二法	警 部 前田 孝 (昭一三專二商	警 部 神谷 清勝 (昭一九專二經	警 部 加賀 実 (昭一八專二法	警 部 井上 勇 (昭一三專商	警 部 久保田嘉治 (昭八專二法	警 部 西島 建三 (昭一六專二經	警 部 向山正太良 (昭二六專二英	警 部 藤井 勝 (昭一五專二經	警 部 水野 忠彦 (昭二五專大經	警 部 浜上 德隆 (昭一九大	警 部 山本 八郎 (昭一七大	警 部 奥戸 清 (昭五專法	警 部 森田 俊哉 (昭二二大經	警 部 荻阪 操 (昭一二大政	警 部 今仲三木雄 (昭二六專二商	警 部 平野 明 (昭二專二經	警 部 羽田 良三 (昭九專二法	警 部 鷲塚 薫 (昭五專法	警 部 貴田 耕治 (昭一九工專	警 部 富田潤次郎 (昭一四專法	警 部 中山 秀次 (昭四專商	警 部 五十嵐 脩 (昭一九專經	警 部 百々 靖雄 (昭二〇〇〇	警 部 細見 順三 (昭一〇大法	警 部 小林 勉 (昭一九大經	警 部 介本 浩市 (昭二四專國	警 部 茶山 勇治 (昭二五專商	警 部 板東 埋 (昭二四專二法	警 部 加納 勇 (昭二專二商	警 部 岩橋 昭 (昭二五大	警 部 奥野喜久男 (昭二四專二法	警 部 油谷 菊雄 (昭二五大二英	警 部 森 敏雄 (昭一六專
------------------	------------------	--------------	------------------	----------------	----------------	-----------------	------------------	------------	------------------------	--------------------	-----------------	--------------------	--------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-------------------	------------------	-----------------	------------------	-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-----------------	-----------------	----------------	------------------	-----------------	-------------------	-----------------	------------------	----------------	------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	-----------------	------------------	------------------	------------------	-----------------	----------------	-------------------	-------------------	----------------

所蔵重要図書解題 (其三)

4 Cotgrave, Randle : A Dictionarie of the French Tongues. London 1622. フォットグラーヴ編「佛英辭典」第一版 一六三二年刊 一冊

英國における初期の辭書は、ラテン語

その他の外國語を英語で説明したものであり、一六二三年 H. C. Gent. (Henry Cockam, Gentleman) の The English Dictionarie が出る以前には、英語を英語で解釋した辭書はなかつたのである。コトグラーヴのこの辭書は、フランス語を英語で説明したもので、一六一一年に初版が出た。ジェームス一世の長子ヘンリーにこの辭書を献呈した處、十ポンドの謝金が著者に贈られたという。

一六三二年に Robert Sherwood 執筆の英佛辭典の部を附加して第二版が出版せられた。本学所蔵のものは、この第二版であつて、細江文庫に属している。コトグラーヴの死後は James Howell が改訂増補し、一六五〇年、一六六〇年、一六七三年の三回發行した。この辭書には、滑稽な誤謬があつたが、當時としては、類書に乏しかつたから、英語、フランス語の研究に寄與する處が多であつた。殊にアーカート (Sir Thomas Urquhart) がラブナー (François Rabalais) を英訳するに際し、この辭書に負う處が

多かつた。又、シェイクスピアは一六一六年に歿したが、本書の初版發行は一六一一年であるから、シェイクスピアも生在中には恐らくこの辭書を使つたであらうと言われている。

本学所蔵のものは第二版であるが、第二版の意味は何處にも記されていない。標題紙に一六三二年と明記し、次にコトグラーヴが秘書した Sir William Cecil (後の 2nd Earl of Exeter) のの献辭があり、讀者への注意、誤謬の訂正があつて本文に入る。Z が終つてから、フランス語の文法の略解十頁と完全動詞の変化表一枚が付けられている。次に Sherwood の英佛辭典(英語をフランス語で説明したもの)があり、巻末に英語の發音の記事や不規則動詞表がある。装釘は後年改裝したもので、鼠色の総皮であり、小口三方は赤く染められている。クワルト判であるが、當時の慣例通り頁付はなく、厚さ二寸五分のかなり大きい本である。表紙の内側に、小形楕圓形に ex Museo Hvhiu と金色で印刷した蔵書票が貼つてある。

著者コトグラーヴの生歿年は詳らかでない。ケンブリッジの St. John's College に学び、前記の如く William College の秘書をしていた。彼は佛語、佛文

学のみならず、當時の俗語にも通じ、又博物学の知識もあつた。一六三二年第二版出版の當時は健在であつたから、死去したのは、一六三四年であると言われている。

5 Johnson, Samuel : A Dictionary of the English Language. London 1755. 2 vols. ジョーンソン著「英語辭典」初版 一七五五年刊 二冊

有名なジョーンソンの英語辭典である。ジョーンソンは一七四七年、標準英語を制定する意圖の下に英語辭書の編纂を企画した。Bailey の辭書(一七二一年刊)を基礎とし、諸大家の用例を蒐集し、研究苦心を重ねること八年半にして、その結晶はフオリオ判二冊の大辭典となつて生れたのである。そして一五七五ポンドという莫大な報酬を得た。各語には Shakespeare, Bacon, Dryden, Hooker, Milton, Pope, Spenser 等の用例が掲載してある。第一巻は巻頭に序文(一〇頁)英語史(二七頁)、英文法(一三頁)を記して、A より K を收載し、第二巻は L から Z までを収めている。初版は直ちに賣切れて、同年訂正第二版が出版された程に好評を博した。そして生前五版まで發行した。

この辭書の初版は現在稀書に属している。昭和十一年發行の市河三喜氏著「英語学」に、「日本にも図書館には何處に

も無いようであるが、個人としては之を蔵して居る人も数人あるであらう」と述べられている通りである。幸にも本学では、昭和十三年に一部受入れて所蔵していたが、その後、寄贈された細江文庫の中に、細江逸記博士が愛用されていたものがあつたので、この得難い貴重書を実に二部所蔵するという誇りを持つてゐるのである。従來所蔵のものは、William Gordon Esq. of Fyvie の蔵書票が貼つてあり、細江文庫の方は Rob. Hubble のサインがある。両方共に本文中には書き入れは全くなく、各冊堅一尺四寸、横九寸、厚さ二寸八分という大変に大きい書物であり、装釘は茶色の総皮のオリジナルである。Rob. Hubble については全く知る由がない。前者 William Gordon 旧蔵の蔵書票にある Fyvie とは、スコットランドの Aberdeen の北北西二十四マイルにあり、現在人口五千ばかりの村落である。この William Gordon はスコットランドの名門 Gordon の一族である。この二冊共に標題紙の前にある白紙にインキにて Words omitted in this Vol. と記し、漏れている單語を列記しているが、第一巻には十數語、第二巻には六語書かれてゐる。William Gordon が書いたのであらう。

試みにこの書き上げられた語の二三を眺むと見ると、Airy, a nest of Hawks & other Birds of Prey と書き、且

Statistics. Sociology. Commerce.

- Fisher, R. A. : Statistical methods for research workers. 10th ed. Edinburgh 1943.
 Cole, G. D. H. : The meaning of Marxism. London 1950.
 Rostas, L. : Comparative productivity in British and American industry. Cambridge 1948.
 Carter, Roger N., and Carter, W. Roger : Advanced accounts; a manual of book-keeping and accountancy for students. 3d ed. revised. London 1949.

Fine Arts. Language. Literature.

- Winckelmann, J. J. : Ewiges Griechentum; Auswahl aus seinen Schriften und Briefen. Hrsg. von Fritz Forschepiepe. Stuttgart 1943.
 Pitman dictionary of the English language. London 1949.
 Horwill, H. W. : A dictionary of modern American usage. 2d ed. Oxford 1949.
 Helbok, Adolf : Die Ortsnamen im Deutschen siedlungs- und kulturgeschichtlich betrachtet. Durchgesehener Neudruck. Berlin 1944.
 Littré, E. : Dictionnaire de la langue française; abrégé du Dictionnaire de E. Littré par A. Beaujean. Nouvelle éd. Paris.
 Berneker, Erich : Russische Grammatik. 6. unveränderte Aufl. von Max Vasmer. Berlin 1947.
 Daiches, David : A study of literature for readers and critics. London 1948.
 Speaight, Robert, and others : Since 1939 ; Drama, the novel, poetry, prose literature.

London 1949.

- Nicoll, Allardyce : British drama; an historical survey from the beginnings to the present time. 4th ed. revised. London 1949.
 Granville-Barker, Harley, and Harrison, G. B. : A companion to Shakespeare studies. Cambridge 1949.
 Knight, G. Wilson : Principles of Shakespearean production, with especial reference to the tragedies. London 1949.
 Nicoll, Allardyce : A history of late nineteenth century drama, 1850—1900. Vol. 1—2. Cambridge 1949.
 Buchwald, Reinhard : Goethezeit und Gegenwart; die Wirkungen Goethes in der deutschen Geistesgeschichte. Stuttgart 1949.
 Buchwald, Reinhard : Goethe und das deutsche Schicksal; Grundlinien einer Lebensgeschichte. München 1948.
 Lukács, Georg : Goethe und seine Zeit. Bern 1947.
 Rose, William (ed.) : Essays on Goethe. London 1949.
 Valéry, Paul : Rede zu Ehren Goethes, Deutsch von Fritz Usinger. 2. Aufl. Boppard a. R. 1949.
 Enders, Carl : Faust-Studien; Müttermythos und Homunkulus-Allegorie in Goethes Faust. Bonn 1947.
 Matzig, Richard B. : Hermann Hesse; Studien zu Werk und Innenwelt des Dichters. Stuttgart 1949.
 Vossler, Karl : Italienische Literaturgeschichte. Berlin 1948.

"High in the beeling cliff his airy builds" Thomson と例を引用して、その Airy の箇所を見ると、ジョーンズは Airy について七に区分して説明しているが、成程巢については述べられていない。しかしジョーンズは、Aerie の處に Aerie [airie, Fr.] The proper word in hawks and other birds of prey for that which we generally call a nest in other birds. Cowell. と記している。綴り方の相違のため書き入れた人は氣付かなかつたのである。同様に Gerkin, a small cucumber と書いているが、ジョーンズは Gherkin の綴りで説明している。又 Mahogany はジョーンズにはなく、a kind of Brown wood, brought from the West Indies & much used for furniture と説明を書いている。尚、この外に書いている単語には Binnacle, Caricature, Donkey, Flapper, Halliards, Muffin, Surf 等がある。

著者サムエル・ジョーンズは、英國の有名な文豪であることは今更言うまでもない。一七〇九年リッチフィールドの書肆の子として生れ、オックスフォードに学んだ。ホープの Messiah をラテン語に翻譯して世に知られる様になり、この英語辭典の外に、詩、隨筆、小説その他を著作し、当時ロンドンにおいて彼は実に文壇の大御所と云つたわれていた。一七八四年逝去した。(K・A 生)

關西大學國文學會編集

國文學 第四号

昭和二十六年六月十日刊行・定價七十円

杜甫と芭蕉(一)

「安井夫人」ノート

みちくの島の郁子山女

堤中納言物語「よしなしごと」

連体格から運用格へ

所謂「に」に通じる格助詞「の」の二解

浄瑠璃評記解説(一)

近松の「傾城反魂香」のテキスト試案

大阪府吹田市千里山(關西大學内)

發行所 關西大學國文學會

堀 正人
堀 達郎

長谷川 信好

土部 弘

横山 正弘

吉永 孝雄

校友へのお願い——校友名簿作成のための——

從來校友名簿の整理を行つて來て居りましたが各位の要望に應えて今回名簿整理を一層促進すべくカードシステムを採用し、又その他の設備を整えて名簿作成に大童になつて居ります。何分四万有余の会員を有する本學に於ては戦時戦後の慌ただしい情勢の下にあつて校友各位との連絡も充分でなく名簿整理に困却を來して居ります。就いては本誌購読者各位は勿論、お知合いの校友の住所、職業、勤務先等近状をお知らせ願えれば幸甚です。又お知らせ下さる点に於て重複は厭いませぬ故御存知の限り一人でも多く左記宛お知らせ下さい。尙各校友の卒業年度、部科別も併せてお知らせ下さい。

昭和二十六年七月

大阪市大淀区长柄中通二丁目

關西大學校友課

電話堀川(35)

(七五六・〇七二)
(〇七五・三三三)

(一〇頁よりつづく)

が懸つてゐる。銘に由つてこの鐘は我が後一條天皇の頃、大陸の遼の國に於て治鑄されたものなることを知る。遼から高麗に移り後本土に渡つたものであらう。尙當寺は明治の初まで糸織の名所として栄えた。藤澤泊園に學んだ田中右馬三郎の大坂繁昌誌に「櫻祠堤岸、有渡。曰源八渡。渡而西。有古刹。曰鶴瀧寺。寺中櫻花有黃者。有藍者。花候比櫻祠少早。彼重鑄。此單鑄。所以花有遲速也。」とある。(カッとは鶴瀧寺梵鐘銘(日・N生))

編輯後記

◇愈々年内も夏季休暇に入つて學生の姿こそ閑散となつたが、大學の活動は休暇の間も一日として緩む事なく進んでをり昨年本誌十一月号及び本年四月号に於て紹介した五ヶ年計畫は着々実施運行せられ、六月末外苑に於ける幼稚園々舎落成し、教職員住宅恵風園の竣工目録の間にあり、大学院研究所並びに千里山大學本部及び正門の工事も亦進捗、秋を待たずして完成の運びとなつた。

◇本号の編輯期に當り偶関西を襲つた豪雨は連日に亘つて執拗に降り続き、原稿の集録に少からぬ困難を生じた。

◇澤瀉教授は嵯峨大覚寺の名葉展が昔の風雅を失つた今日、興趣深き和菓子達の識を寄せられた。当代万葉学の泰斗である教授の静かな日常の一面を窺ひ得るものと思ふ。

◇考古学の權威末永講師も亦多忙の中を編輯室依頼の無理な願ひを聞き届けられ千里山を扇眼とした北瀬地域の遠きいしへに就いて得難い稿を寄せられた。

◇此度新たに本學國文學研究室内に万葉學會が設けられる事となつた。大方の御入会を希望する次第である。

◇校友課では本年度に入つて本格的に校友名簿整理作成に邁進してゐるので、是非々々御協力下さい、廣く校友の消息を御連絡あらんことを切望致します。

◇「燈台もと暗し」の諺の如く、私たちは存外自分の身近の地誌に疎いものである。今、校友諸兄に對しては大學の思ひ出として、又在學の學生に對しては勉學にゆかりある地への認識を深めて貰ふようすがとして、電鉄千里山線の沿線地誌を「沿線風土記」と銘打つて連載することに致しました。識ある方々の御叱正御教示を賜りたく。(編輯部)

昭和二十六年七月十五日印刷
昭和二十六年七月十五日發行

關西大學學報 第二四一號

一年誌代費二〇〇円(送料共)

大阪市長柄中通二

發行所 關西大學學報局

中 村 浩

大阪市長柄中通二

印刷者 株式會社 ナニワ印刷所

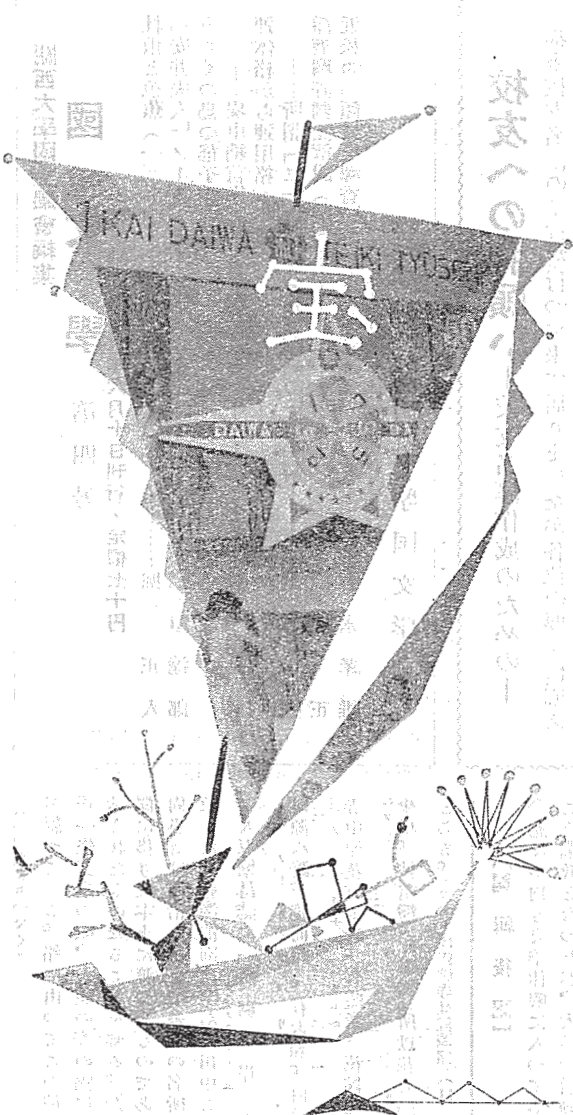
西 井 隆 藏

大阪市長柄中通二

發行所 關西大學學報局

電話堀川(35) 七五六番
大阪 二六七二番

關西大學學報 第二四一號 (復刊一、二號)
昭和二十六年七月十五日發行 (毎月一回十五日發行)



10本に2本!

中間賞が必ず当たる

特賞 50万円・1等 5万円

2等 1千円・3等 500円

以下賞金多数・空ケジなし

1番お得な預金です

お預け入れは1口1千圓・6カ月・無税

大和定期

ダイワの通信預金 BANK by MAIL

第12回抽せん日は、9月4日です

お取扱は、8月31日まで
只今全店にてお取扱中

日本最初の試みとして大和定期の通信によるサービ

スをはじめております近隣の皆様には

いながらお預金ができて大変御便利です

お申込みは 本店 大和町東區御後町2-21

儲け口 大阪 524



大和銀行

頒價二十円